



- みんなで取り組む安全安心まちづくり -

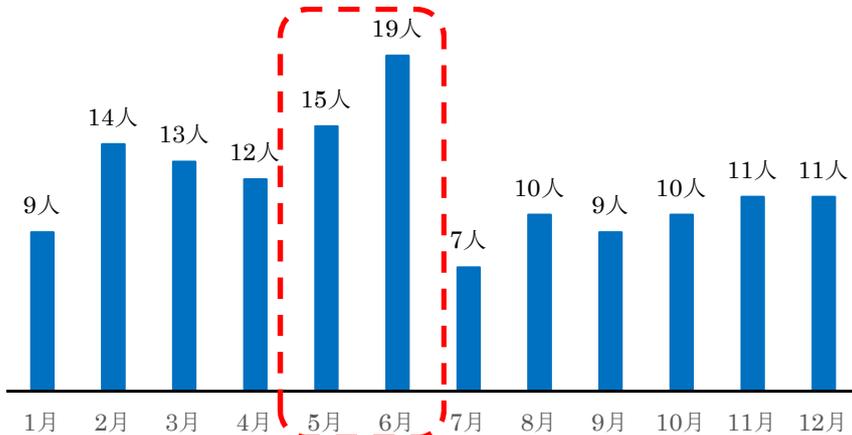
セーフコミュニティ通信

No.69

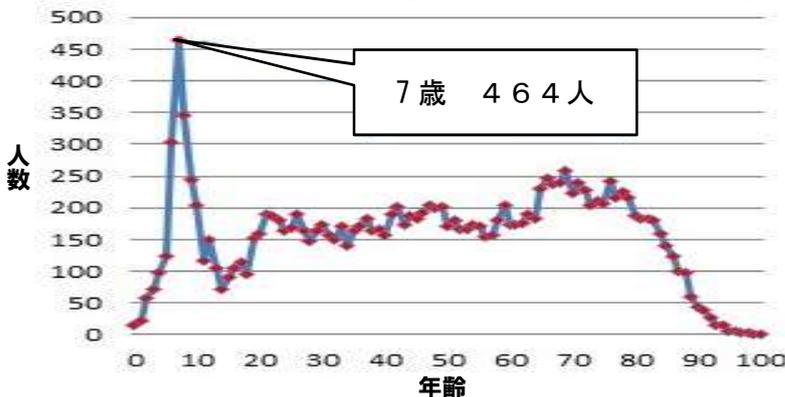
R3.4

交通事故から、子どもを守ろう！

歩行中の幼児・児童の死者・重傷者数の月別推移
【平成28年～令和2年合計】



歩行中死傷者数【平成28年～令和2年合計】



福岡県の幼児・児童の死亡・重傷事故のうち、**幼児の6割、児童の7割が歩行中に発生**しています。

5月、6月は、歩行中の幼児・児童の死者・重傷者数が一年中で**最も多い時期**です。

歩行中の交通事故死傷者数（軽傷者を含む）は、「**7歳児**」が突出しています。

歩行中の幼児・児童の死者・重傷者のうち**7割は、青信号で横断歩道を渡るなど、交通ルールを守っていたにもかかわらず、事故**にっています。

子どもを事故から守るため、みんなで交通ルールを守りましょう。

出典：福岡県警統計資料

地域みんなで子どもを守ろう。

子どもは大人の行動をいつも見ている。

◆子どもは大人の行動を真似ます。普段から交通ルールを守り、子どものお手本となる行動をしましょう。

ドライバーのみなさん、横断歩道の一時停止や、子どものそばの徐行は道交法に定められた義務です。

◆横断歩道を横断しようとしている歩行者がいるときは、手前で一時停止をして歩行者に道を譲ってください。

◆ひとり歩きの子どものや身体に障害のある人、高齢者等が歩行しているときは、一時停止や徐行をして、歩行者が安全に通れるようにしなければなりません。

コロナに負けず「安全運転」

◆新型コロナウイルス感染症の影響で、ストレスを抱えながら運転する機会もあるかもしれません。

そんな時こそ安全第一です。安全運転に集中しましょう。

大人も子どもも、みんなで気をつけよう。



「朝 帰り いつも見守ってる人達に
ありがとう」

令和2年度 SC 標語応募作品

◆横断歩道が近くにある所では、必ず横断歩道を渡りましょう。

◆横断歩道を渡る時は、青信号であっても、左右をよく見て安全を確かめてから横断を始め、横断中も車に気をつけましょう。

発行元

久留米市セーフコミュニティ推進協議会
(事務局：久留米市協働推進部 安全安心推進課)

〒830-8520 久留米市城南町 15-3
TEL：0942-30-9094 FAX：0942-30-9706
E-mail：anzen@city.kurume.fukuoka.jp